



特42
893

英羽



このうしろに
 おのれが
 まんがんえん
 安んんん
 脱走の
 景況を

遊科にて
 一万六千の各

11



中
 国

このうしろに
 おのれが
 まんがんえん
 安んんん
 脱走の
 景況を



薩州長門屋州
 松代の兵のあつて
 進く物急沼川を

三ノ目



脱兵の行候おどろきの
 退ちじ小お口の張り
 彼子砲春をさうき防戦お
 乃ゆりらとさ
 去い男とさふ
 お散され
 舎は屋
 立子ま戦へ
 散走るかん

又千のり別おさし
 三人の落兵ハ雷時のみ

三ノ目



五能



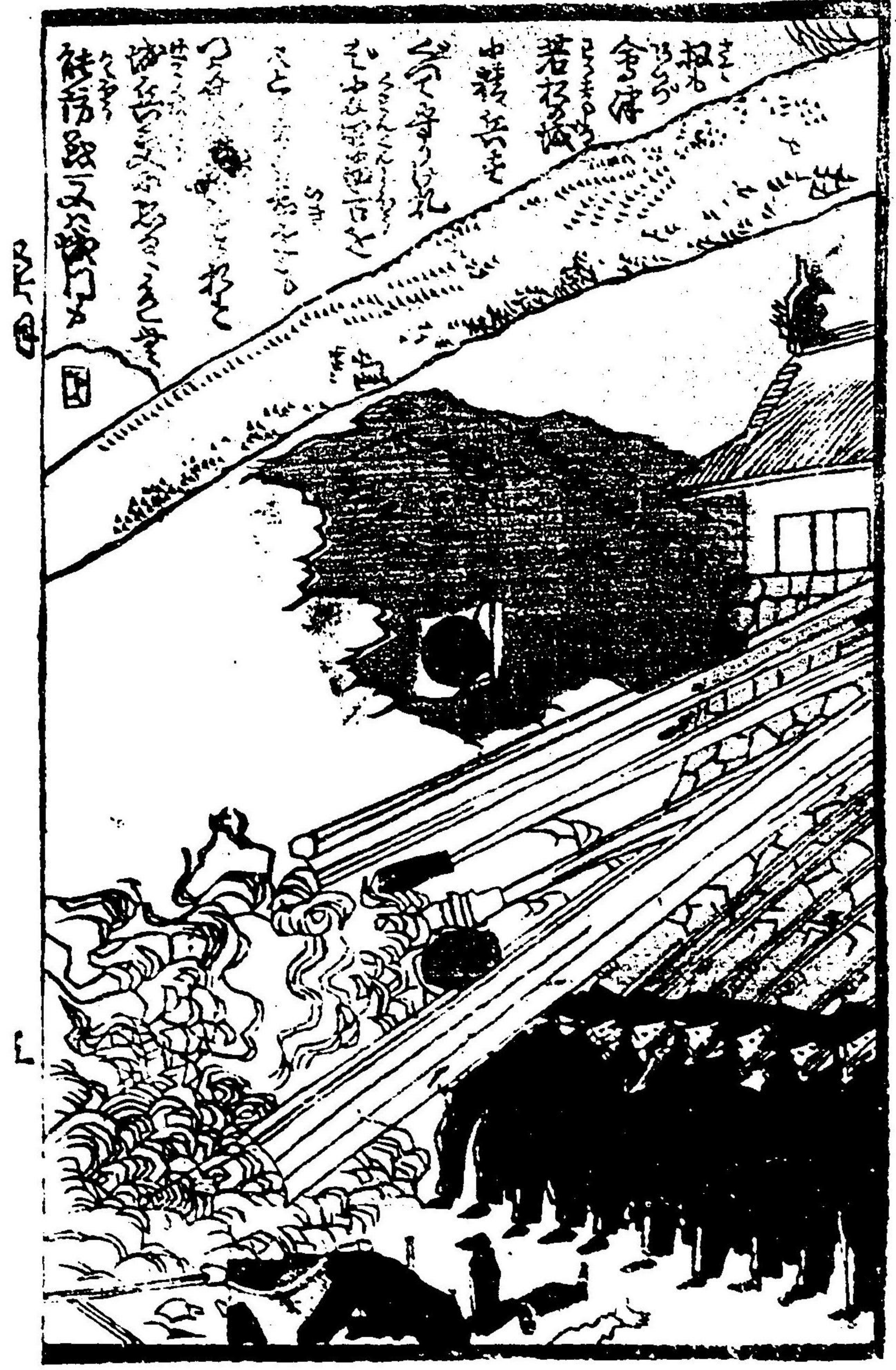
六能

口

或人脱兵木
 のりもせし
 成を十全の
 引け初彦
 子で放り
 女兵五兵の
 とまる勢一あり討全
 上は兵追うて落城をいそ
 打ち長夜討可城をたて

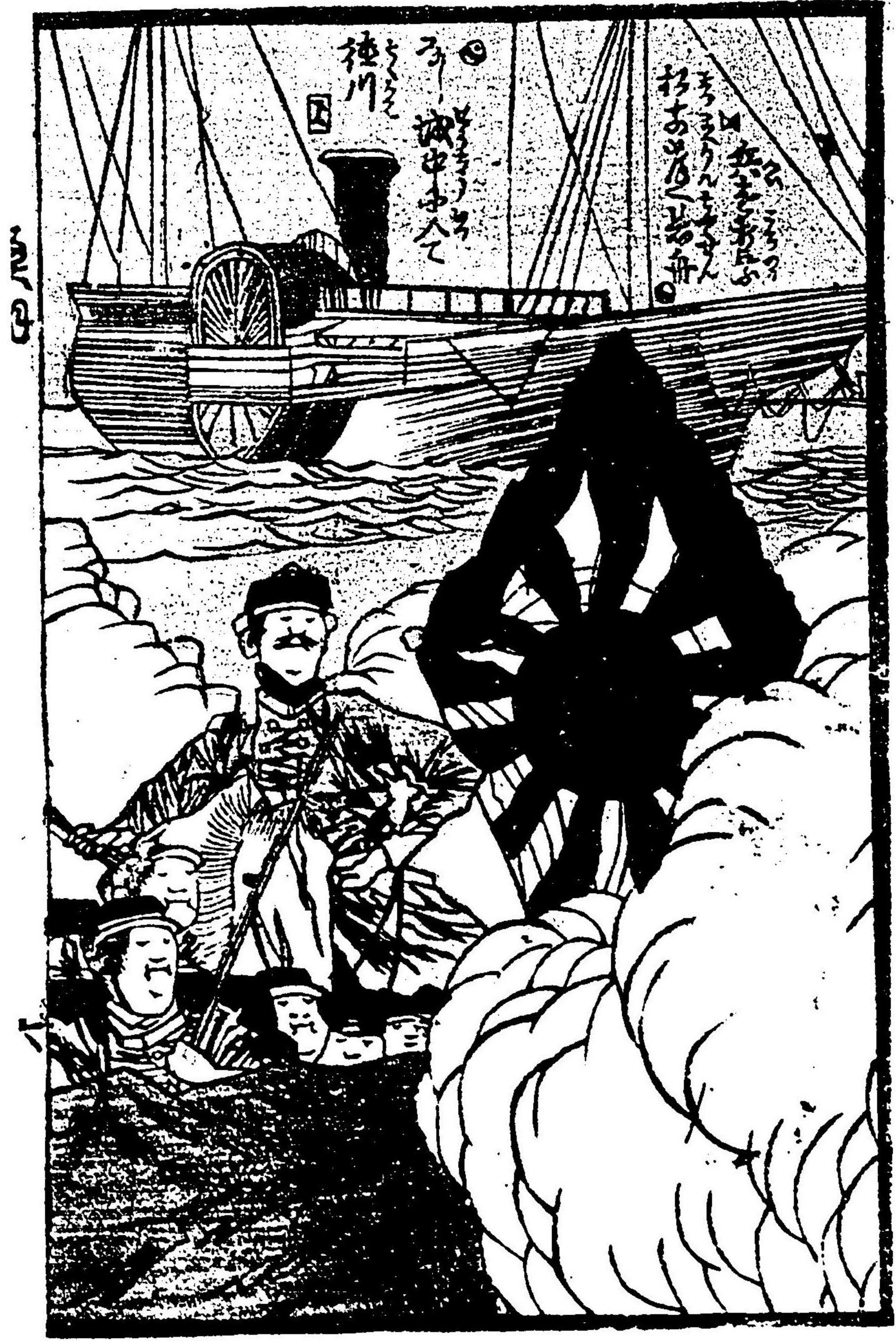
一ひつり
 の平
 女兵五兵の
 とまる勢一あり討全
 上は兵追うて落城をいそ
 打ち長夜討可城をたて





此の山は...

此の山は...



徳川
の
船
中
へ
入
る

舟
中
の
人
々
は
皆
徳
川
の
船
中
へ
入
る

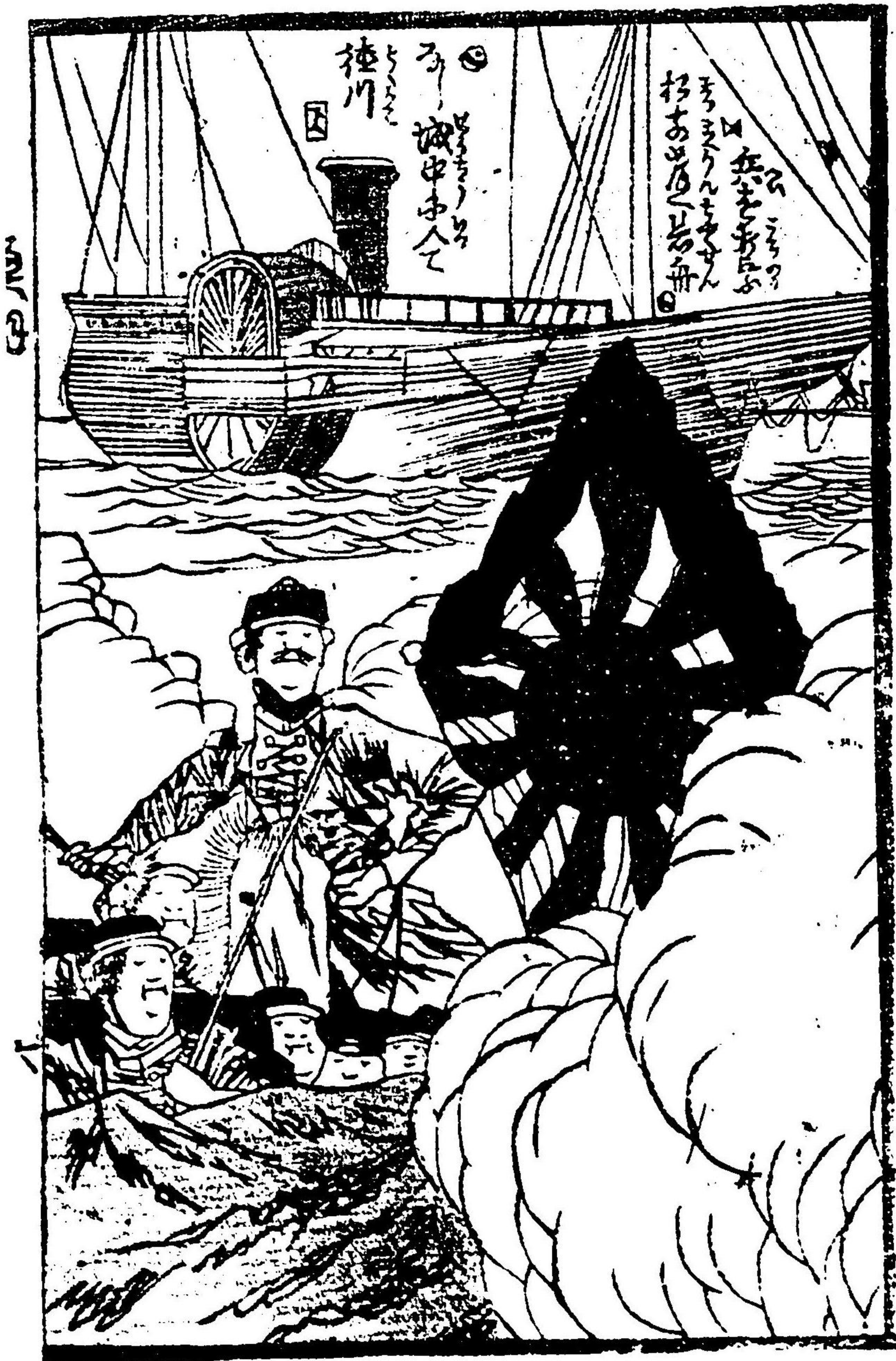
CP 100



徳川
の
船
中
へ
入
る
舟
中
の
人
々
は
皆
徳
川
の
船
中
へ
入
る

舟
中
の
人
々
は
皆
徳
川
の
船
中
へ
入
る

CP 100





船の帆は風に靡く
 波の音は遠くまで
 響く
 船の影は水に揺る
 帆の影は空に映る
 船の影は水に揺る
 帆の影は空に映る



船の帆は風に靡く
 波の音は遠くまで
 響く
 船の影は水に揺る
 帆の影は空に映る
 船の影は水に揺る
 帆の影は空に映る

明治十二年五月廿日

佛局

佛局編纂出校人板田善吉

價三